

基幹労連シニアクラブ・ニュース

基幹労連退職者の会事務局

2013/06/24

第3号

「とどろき利治」必勝に向けたご支援を！

ご安全に！

基幹労連退職者の会（略称：シニアクラブ）は、多くの皆様のご支援により結成し、2ヵ月が経過しました。この間、三役連絡会などを開催し当面の活動内容の確認を行うとともに、第2回総会に向け準備を進めています。

一方、基幹労連では「とどろき利治」必勝に向け、組織の総力を挙げた取り組みを展開中です。

「人が主役の社会をつくる」ために奮闘

皆さまご承知のとおり、「とどろき利治」参議院議員は、2007年7月の参議院議員選挙で当選して以来、「人が主役の社会をつくる」をスローガンに、ものづくり産業の代表として、基幹労連の産業政策等の実現に向けて奮闘、努力してきました。また、東日本大震災後への対応については、東北三県を中心に現地に足を運び、仲間の声を聞くなど敏速に被災地の実情把握に努め、復興に向けた関連法案の整備や具体策の実行に取り組んでいます。

今回は逆風下の厳しい闘いに



「6/4 とどろき事務所開き」にて シニアクラブ役員と

各地区の退職者の会におかれては、既に出身組織からの支援要請に基づき、積極的な取り組みが行われているものと推察いたします。しかし、今回の選挙はかつてない逆風下の厳しい闘いになっています。こうした状況下、必勝を期すためには現役の頑張りはもちろん

のこと、われわれ退職者の会も全面的に支援していかなければなりません。

「退職者の会」も一丸となって

現役のなお一層のご奮闘を祈念するとともに退職者の会会員皆様の格段のご支援を心からお願い申し上げます。

ご安全に！

基幹労連退職者の会（シニアクラブ）

会長 宮園哲郎

ごあいさつ

私は、皆様の力に支えられて参議院議員として活動してきました。
そして今、参議院議員2期目に挑戦しようとしています。

わが国は、戦後、諸先輩の懸命な努力によって復興し、
中間層が分厚い、世界に誇れる国を築き上げてきました。
その復興、発展の基盤は「ものづくり産業」です。
しかし、現状は、国の行く先が不透明になっています。
私は、この日本を、若い人達、子供に、夢と希望の持てる形で
引き継ぐことが役割だと思っています。
その中心にある「ものづくり産業」を、より発展させることが重要です。

私は、職場に育てられ、仲間に支えられ、
人は個ではなくチームであることを学びました。
一人ひとりに居場所があり重要な役割を担う
「人が主役の社会をつくる」ことが私の目標です。

私にとって今年の夏は勝負の時です。
皆様の力強いご支援、ご協力をお願いいたします。

とどろき利治

人が主役の
社会をつくる

私たちの産業と
生活を守ります！

